



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:74 平成20年6月15日

## …つぶやきサロン…

### 花に教わったこと

今年はいつもより沢山花をつけた紫陽花が、日一日と色を深めて素敵です。“おはよう！今日も元気に咲いてネ”と声をかけに、毎朝門の外まで足を運びます。室内には、昨年頂いたクジャクサボテンが、真っ赤な羽を広げたクジャクのように咲いて見事ですし、小さな庭には白百合が次々と花を開いてよい香りを放っています。近くの夜宮公園では菖蒲が真っ盛り、自然はこのうとうしい時期にも心を晴れやかにしてくれるものを準備しているのですネ。

全く田舎を知らずに育ち、土といえば“どろだんご”を作ったことしか思い出せない私が、家族の健康を守るために生協活動に参加し、仲間と共に有機無（低）農薬野菜の青空市場を始めたのが30年ほど昔。自宅を開放して毎週1回の青空市場を続けて10年。様々な事情で青空市場を閉じた後、今度は自分で土と親しむようになって早や20年近い。もっぱら花が主体ですが土いじりの幼稚園児から始めて、水遣りを怠って枯らしたり、虫に食べられたり、風に吹き飛ばされたり、何度も何度も失敗を繰り返しながら少しずつ要領をつかんで、四季折々いつも花が楽しめるように整えてきました。5人の子を育てた後は、まさに子育てそのままに・・・いつも見守りつつ構い過ぎないように・・・と草花を育てています。また折々に咲く花を家のあちこちに飾るのも楽しみで、花に元気をもらいます。

花を育てるようになって季節を敏感に感じるようになり、散歩に出かけても、ついよその家のお庭が気になります。また家の前を通る方たちが花を眺めて喜んで下さるのが嬉しくて、手入れをするのも苦になりません。大きなスイレン鉢のスイレンは珍しいのか傍らによって見てゆかれます。子ども達も同居の金魚やメダカに大喜びし、年配の方はスイレン鉢の横でちょっと一休みされます。時には花の話に花が咲き、時を忘れてしまうことも・・・。

毎年決まった時期に忘れずに咲いてくれる花たちを見ていつも思うことは、本を読んだり人の話を聞いただけではわからない自然の摂理、宇宙の仕組みの不思議さ、すばらしさ。何より大切なのは肥料もだけれど太陽と水。それは人間にとっても同じこと。体の健康もなるべく薬などの化学物質を入れないほうが良いと同様、土も自然の堆肥だけにしてしまうと虫もあまりつかずに元気に育ちます。また生ごみや落ち葉が土に返ってゆく様子を自分の手でふれ実感することで自然と共に生きることの大切さが深く納得できます。

これだけ医学の発達した21世紀に病人が増え医療費が増大しているのを目の当たりにして、もっと自然の営みに沿った生き方が必要だと声を大にして伝えなければ・・・と思うこの頃です。



ゆり根の会 田中佳子

# 第79回・サポートセンターの日/2008・5・26

～障がい児（者）の地域生活を支える活動～



障がい児・者の地域生活を支える「らしくの会」  
代表 岩橋 由美子さん



特定非営利活動法人 アベック  
理事長 柴原 良子さん

「らしくの会」は障がいのあるなしにかかわらず自分らしく生活したい、住み慣れた地域で暮らしたいと願い、その実現のために障がい者の地域生活の支援活動を始めて、今年で9年目を迎えます。

地域で暮らすことを実際に体験するため「ジョイフルハウス」を発足4年目から始めました。時を同じく、支援費制度ができ、ヘルパーなどの利用ができるようになったことから、ヘルパーと共にハウスに来て買って来た弁当を食べる体験、料理を作って食べる体験など、ここでは親が驚くほど子どもたちは安心して、成長する姿が見られます。北九州市にはこのような障がい児・者の生活体験ができる施設が無いことから、その必要性も訴えながら、活動を続けてきました。

障害者自立支援法の施行により所得保障の無いままに応益負担を課せられ、以前にも増して障がい者は自立した生活に対する不安感を抱く状況が生まれました。それは支援法の中で謳っている「ノーマライゼーション」の理念とはかけ離れたもので、その矛盾を声に出していくことも必要だと思っています。平成19年度は宿泊体験者は延べ330名に上りました。

この間、支援者の方の意見を聞いたり、ヘルパーや介護福祉士の資格も取りながら研修を重ねるなど、他の支援者を巻き込み活動を続けてきました。

昨年からは北九州市の地域活動体験事業が始まり、今年度は門司障害者地域活動センターが引き受けることになりました。今後はその体験型事業をバックアップしながら活動を続けていく予定で、「ジョイフルハウス」は平成20年5月をもって発展的に解消します。体験型の場が法人の運営により今までより安定したものになることは喜ばしいことです。しかし、安い補助金での運営や体験型の数の少なさなどまだ厳しい状況であることには変わりありません。これからも色々声を上げながら、障がいがあっても生き生きと地域で暮らせるように支援していきます。

アベックは平成10年4月1日に無認可の小規模作業所として、男性4名、女性4名、指導員2名の計10名で立ち上げました。アベックとはフランス語で「共に」という意味です。作業所の運営は市の補助金と会社の下請作業や包装枠作りで、収入はかなりあり順風満帆の経営状態でした。

しかし、平成18年に障害者自立支援法が施行されたため、仕事量が5分の1に減り厳しい経営状態に陥りました。そこで同年6月1日に特定非営利活動法人の認証を受け、平成19年から地域活動支援センター事業の指定を受けました。その資格をもって、平成20年4月に八幡西区の要園と一緒に就労継続支援B型サービス提供事業所（障害者自立支援法に定められている事業で、利用期限を定めず、生産活動を通じ、一般就労への訓練を行うことを目的とした施設）に移行しました。

2つの作業所が一緒になったことでのメリットは、第一に働くメンバーが19名になることによって経済の保障がしっかりすることです。二つ目は若い方に職場を提供できること。三つ目はこの活動を後進に譲る道が開けたことです。組織が大きくなることで、対象者が見えなくなることが怖いので、障害者がいることを忘れないでやっということを確認し合いました。

アベックでの作業は決して楽なものではないのですが、毎日の活動を通して、障害者が社会の中で自分の給料で生活できるように、「働く」ということはしっかり身につけたと思っています。また、「こんにちは」、「ありがとう」の挨拶ができるように日常茶飯のマナーもちゃんとできるようにしました。

来所者の方から、ここの皆さんはとっても明るいと言って下さいます。

障害者が一般社会へ羽ばたいていけるように、これからもその実現に向けて頑張っていきたいと思っています。



# 情報のひろば

ムーブフェスタ2008・市民企画事業  
のいくつかをご紹介します。

開催期間：7月1日(火)～7月30日(水)  
会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”  
お問合せ先：TEL/FAX093-583-5082

7月4日(金)

特定非営利活動法人 女性ヘルプネットワーク  
子どもの安全のために～体験!!おとなワークショップ～  
●小セミ●10:00～12:00  
●資料代300円●託児料300円●当日可  
●託児の場合事前申込み093-541-5805(野口)

7月6日(日)

北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBe e  
家族み～んなが育つ!プレイセンターに学ぼう!  
●大セミ●13:30～16:30  
●参加費500円●託児料300円  
●事前申込み093-884-9819(中村)

7月9日(水) 特定非営利活動法人北九州子ども劇場  
第14回 北九州子ども文化セミナー

●大セミ●10:30～15:00  
●参加費600円●託児料300円  
●事前申込み093-884-3834(松本)

7月9日(水) 認知症・草の根ネットワーク

認知症・草の根ネットワーク設立総会・記念講演会  
●ホール●18:00～21:00●資料代300円  
●事前申込みFAX093-963-3075(田代)  
●当日可(予約人数による)

7月11日(金)

特定非営利活動法人GGPジェンダー・地球市民企画  
「DVの解決をめざして～非暴力への道～」  
●大セミ●14:00～16:30  
●資料代500円(会員は無料)●託児料300円  
●当日可

7月12日(土) NPO法人男女・子育て環境改善研究所  
お父さんも地域に参加しようよ!

第6回北九州「おやし」サミット  
●交流広場●14:00～17:00●資料代500円  
●事前申込み092-761-4346(富山)●当日可

7月12日(土) 北九州インタープリテーション研究会  
歌おう!地球のいのち

～北九州の詩人 みずかみかずよと歌う  
ウクレレわらべうた にしむらなおとコンサート～  
●小セミ●14:00～15:30  
●参加費300円●当日可

7月19日(土)

特定非営利活動法人 Venus One  
経済的自立をめざす女性のためのワークショップ  
～ムーブ女性起業家支援塾で学んで～  
●小セミ●13:00～16:00  
●参加費500円  
●事前申込み093-533-5008(古賀)  
●当日可

7月20日(日)

チャイルドライン北九州  
子どもたちはいま・・・  
～子どもの「声」を理解するということ～  
●大セミ●13:00～16:30  
●資料代500円●託児料300円●当日可

7月25日(金)

高齢社会をよくする北九州女性の会  
第29回 映画上映とバザーの集い  
【映画】「チベットの女 イシの生涯」●ホール  
●10:30～/14:00～/18:30～  
●参加費大人前売1,000円/当日1,500円  
高大生前売 700円/当日1,000円  
小中学生前売500円/当日700円  
【バザー】●交流広場●10:30～17:00  
●託児料300円(要予約)  
●事前申込み093-583-7604(事務局)

7月27日(日)

NPO法人こころの声を伝えよう実行委員会  
(Angel)  
声の紙芝居2008「ひろがる・こころの旅」  
●交流広場●14:00～15:10●当日可

7月27日(日)

日本自閉症協会 福岡県支部 北九州市親の会  
チャリティジャズコンサート  
～発達障害の理解のために～  
●ホール●13:30～16:00  
●入場料500円(ただし各種障害手帳保持者  
および介助者2名までは無料)●当日可

## 協働事業募集

### ★第6回 パートナースhip大賞★

NPOと企業のパートナーシップを確立し活性化することにより、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的に、社会に多様なインパクトを与えた特色ある「NPOと企業の協働事業」を募集します。

★パートナーシップ大賞グランプリ：NPOに記念盾と副賞30万円、企業には記念盾を贈呈

★パートナーシップ賞 5事業：NPOに記念盾と副賞10万円、企業には記念盾を贈呈

★締切：7月31日(木)

★特定非営利活動法人 パートナースhip・サポートセンター(PSC)「パートナーシップ大賞募集係」

〒464-0067名古屋市中種区池下1-11-21 ファースト池下ビル4F

TEL:052-762-0401 FAX:052-762-0407

http://www.psc.or.jp E-mail:info@psc.or.jp





# NPO法人の申請・認証状況

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年4月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	32,955	31,735	362
【福岡県】	1,179	1,150	1
内閣府	2,957	2,752	118
全国計	35,912	34,487	480

## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年5月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	239	231	—

### 2008年5月に認証された特定非営利活動法人

- NPO法人北九州小規模連（5月14日認証）
- NPO法人夢の里（5月23日認証）

## NPO法人の認証相談

NPO法人の認証について、福岡県の担当課職員が月に2回、サポートセンターに来所し、申請書類に関する相談・受付を行っています。

○相談・受付日：毎月第1・第3木曜日

○時間：10時～16時

※前日までに要予約

○予約・お問合せ：福岡県新社会推進部  
社会活動推進課  
(092) 631-4411



## 北九州市市民活動サポートセンター・特別企画

### NPOマネジメント講座

～助成金・初歩編～

とき：6月5日（木）・ところ：サポートセンター



スピーカー：特定非営利活動法人障がい者YYくらぶ  
理事長 吉田博恵さん

コーディネーター：専門相談員 元松加代子

コーディネーターを当センターの元松相談員が担当し、ワークショップ形式の講座を開催しました。

まず、吉田さんに「障がい者YYくらぶ」の活動を紹介していただき、その後、たくさんの助成金をどのように獲得されたかについてお話をいただきました。また、「助成金情報の入手方法は？」「助成金を申請するにあたり工夫されている点は？」などの質問にも具体的に答えていただきました。

後半は参加者で助成金を得るために必要と思うことを一つずつ考え、参加者全員が出し合うと、それが『助成金獲得のポイント』に繋がるようにまとめていきました。

参加者からは「よい事例の紹介とQ&Aの時間が多く大変参考になりました」

「またこのような講座を開催してほしい」とのご意見をいただき、有意義な講座となりました。



### 編集後記

先日、星野村に行ってきました。和菓子作りやひき臼体験を楽しんだ後、『しずく茶』をいただきました。『しずく茶』とはふたをしたままお茶碗を傾け、玉露を味わいます。ゆっくりと4煎目までいただいた後、最後に残った茶葉に酢醤油をかけていただきます。どんな味かは、ぜひ茶の文化館で実際に召し上がってみてください。

また、夜には星の文化館で土星を観察することができました。天体望遠鏡で見る土星はとてもきれいで感動しました。

いろんな経験ができたとても楽しい旅でした。

by かほす



## 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。  
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日 《10:00～21:00》  
日曜日・祝日 《10:00～17:00》  
【休館日】6月26日（木）7月31日（木）